南市民センター大規模改修その他空調設備工事 工事概要

1 事業概要

南市民センターは昭和５３年に完成し約３０年以上が経過した施設であり、今回の工事は老朽化した南市民センター大規模改修に伴う空調設備工事である。

（１）建 物 用 途　：　集会場
（２）構造・階数　：　社会教育棟（ＲＣ造・Ｓ造、地上２階建）、中央棟（ＲＣ造・Ｓ造、地上２階建）
　　文化ホール棟（ＲＣ造、地下１階・地上４階建）
（３）延 床 面 積　：　11,183.90㎡
（４）関 連 工 事　：　建築工事、衛生設備工事、電気設備工事、自動制御設備工事、発電設備工事、エレベーター工事、消火設備工事、舞台照明設備工事、舞台音響設備工事、監視カメラ設備工事

2 当工事内容

（１）工　事　名　　南市民センター大規模改修その他空調設備工事
（２）工　　期　　令和３年５月２９日から令和４年８月３１日まで
（３）工　事　費　　３０６，６６１，３００円
（４）工 事 内 容　　南市民センター大規模改修に伴う以下の機械設備工事
　・空気調和設備　　・換気設備　　・排煙設備

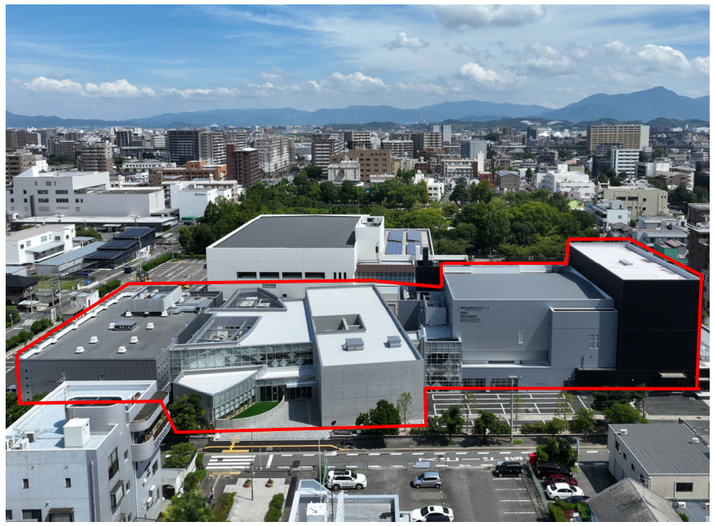
（５）所　　管　　（発　　注）市民局コミュニティ推進部コミュニティ施設整備課
　　（設計・監督）財政局アセットマネジメント推進部設備課
（６）請　負　者　　大橋・千代田建設工事共同企業体
　　（共同企業体の代表者）大橋エアシステム株式会社　代表取締役社長　井上　久行
　　（共同企業体の構成員）株式会社　千代田工業所　代表取締役社長　夏井　敏樹

（７）特に顕著な事柄
・監督員及び１４社の関連工事との定例及び分科会において厳しい工程のなか、施工協議を綿密に行い、円滑な施工に努めた。また、施工図作成の際は７社の機械設備のとりまとめを行い、各社との取り合い点について主体的に確認を行った。
・新型コロナウイルスの影響により関連工事に納期遅延があったなか、全体の工程管理を積極的に行う姿勢が見受けられた。
・設備の輻輳する箇所において３Dデータを利用した配置の検討を行うことで、最適な機器配置ができた。
・空調ドレン配管の接着忘れ防止の工夫を、二重の対策とするなど品質の向上に対する高い意識が見られた。

3 位置図

4 工事完成状況

● 外　観（全体）



● エアハンドリングユニット

● ガスヒートポンプチラー

● 文化ホール

● 大練習室

● 練習室